

鈴峯女子短期大学

ひろしまカレッジ
受講証

申込開始日	定員	50名	対象	社会人、大学生、高校生
11月1日	受講料	無料	会場	研修室C

文化交流の中のジェンダー

文化の交流は人や物が移動し、文物（法律・学問・芸術・宗教など文化に関するもの）が伝わることによってなされます。外来の文化は既存の文化とひびきあい、またその国の風土や環境ともまじりあって、新たな文化を生み出していきます。時代とともに文化が変化し、担い手もその役割も変わります。長い時を経てつくりあげられた伝統的文化は、科学技術が進んだ現代においても新たな文化を生む道標になりえます。そこに文化を継承する意味があり、そのために時代という視点からその担い手と役割について考えてみます。今回の講座では日本の茶道文化（8～16世紀）、イギリスの紅茶をめぐる食文化（19～20世紀）、また英語の中のジェンダーフリーの試み（主に20世紀後半）について紹介し、文化交流の中のジェンダーについて考えます。

① 12月7日(土) (10:30~12:00) 准教授 高橋佐恵子

■ 茶道を通して日本文化を継承する女性の役割

遣唐使がもち帰った茶の実から、茶を飲む風習が日本でも禅僧の間に生まれました。その風習は鎌倉時代には武士階級の間で流行し、室町時代になると一般の人たちの間にも広がり、安土桃山時代に総合的文化体系としての茶道が成立しました。現代では茶道人口は男性よりも女性の方が圧倒的に多く、女性が茶道文化の担い手になっているともいえます。この講座では茶道を外観し、本学園の茶道教育を紹介しながら、茶道文化を継承することの大切さとその文化の継承における女性の役割について考えます。

② 12月14日(土) (10:30~12:00) 准教授 新田由美子

■ 異文化交流とジェンダーフリー（イギリスの紅茶と社会）

イギリスは「紅茶」をグローバル商品にした国です。紅茶をめぐる食文化にはどんなジェンダーの歴史が刻まれてきたのでしょうか。中国大陸の茶木栽培をケシ栽培に遷し、その茶木をインドに移植して紅茶栽培を展開し、TEAの食文化を作り出したのが、大英帝国でした。紅茶の栄養成分について科学しながら、紅茶をたしなむ文化の担い手にみるジェンダーとジェンダーフリーについて皆さんとともに考えてみたいと思います。

③ 12月21日(土) (10:30~12:00) 教授 ジャナ・タウンゼント

■ 英語の中の性差別と「ジェンダーフリー」への試み

「イブは、アダムの肋骨の一本から造られた」と旧約聖書の創世記にありますが、英語は、その成立過程においてユダヤ教・キリスト教の聖典に強い影響を受け、そのために「性差別的」な語彙・語法・表現が、古英語から現代英語への変遷の中で生じたと言われてきました。この講座では、歴史的な背景に触れつつ、20世紀後半を中心に精力的に行われてきた「英語から性差別を撤廃する試み」を紹介し、同時にその問題点なども考えてゆきたいと思っています。（この講座は主に英語で行われます。）

CITY COLLEGE 2013

2013年後期
【受講生募集】

シティカレッジ

シティカレッジは、県内の大学や短期大学、一般社団法人教育ネットワーク中国と広島市、財団法人広島市未来都市創造財団が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。（シティカレッジは、一般社団法人教育ネットワーク中国、広島県教育委員会、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団及び加盟大学で実施する「ひろしまカレッジ」としても一部実施しています。）

CITY COLLEGE 2013

申込方法

- 電話、ファックス、来所でお申し込みください。
（受付時間：月～金（祝日を除く。）8時半から17時15分まで。来所の場合は9時半から）
※郵送（はがき等）による申し込みは受け付けておりません。
①希望講座名もしくは大学名 ②氏名（ふりがな） ③住所 ④連絡先（電話番号・ファックス番号等）をお知らせください。
なお、申し込みの際にお寄せいただいた個人情報については、各大学・教育ネットワーク中国と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。
- 各講座とも全回参加を前提に受け付けております。
- 申込開始日が講座によって異なりますので、ご確認ください。（申込開始日までは受付できません。）
- 各講座ともに先着順で受け付けます。定員になり次第、締め切ります。

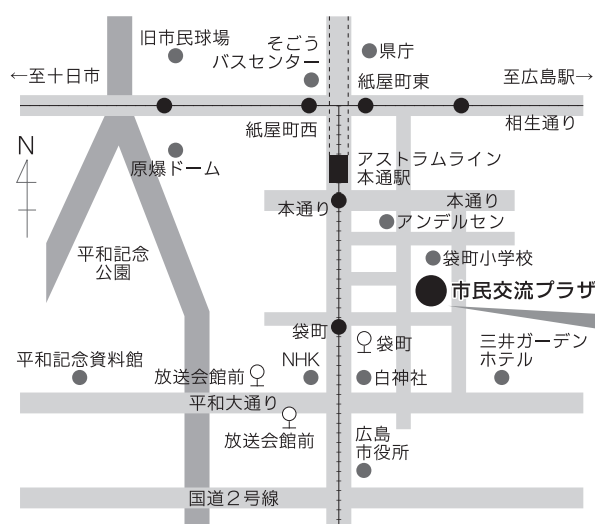
受講上のお知らせ

- 受講当日の開場・受付は、各講座開始30分前からです。
- 広島市まちづくり市民交流プラザの開館は9時半からです。
- 受講当日の大雨や台風などの気象状況により、講座を中止する場合があります。

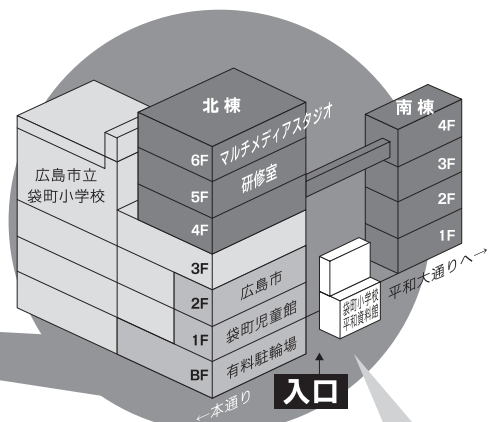
申込・問合せ

財団法人広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課
電話082-541-5335
FAX082-541-5611
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
（広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階）
※土曜日・日曜日・祝日・8月6日・年末年始は閉所しています。

シティカレッジ会場



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場（有料）がございます。
【電車】袋町電停から徒歩約3分
【バス】袋町バス停から徒歩約3分
【アストラムライン】本通駅から徒歩約6分



北棟1階エレベーターをご利用ください。
研修室は北棟5階、
マルチメディアスタジオは北棟6階です。

主催

一般社団法人教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団、近畿大学工学部、比治山大学、広島経済大学、広島工業大学、県立広島大学、広島市立大学、鈴峯女子短期大学

会場

広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町6番36号）

近畿大学工学部

ひろしまカレッジ
受講証

申込開始日	定員	30名	対象	社会人、大学生、高校生（英会話初心者）
9月2日	受講料	無料	会場	研修室C

異文化を知る英会話

アメリカ口語英語表現を通して、そこから見えてくるアメリカ人の発想や文化を学んでいきます。

① 10月2日(水) (18:30~20:00) 講師 本計 義文

■ あなたの常識は私の非常識

言語とはその言語が使用される国の文化の象徴と言えます。その文化における常識や発想を理解することは外国語コミュニケーションにおいてとても大切なことです。私たちの常識に基づいて発話することが、誤解を招くこともあり得ます。例えば「ごめんない。」から出た「ごめんない。」が思わぬ結果を導くこともあり得るのです。アメリカにおける常識を理解した上で初めて成立する、さまざまな米語口語表現を学んでいきます。

② 10月9日(水) (18:30~20:00) 講師 本計 義文

■ 異文化（日常生活）理解

もしあなたが「Is this 800?」と聞かれたら、あなたはどのように返答するでしょうか。この表現が何を意味するかわからなくても800の替わりに「0120」という番号を当てはめると何を意味するか想像がつかないではないでしょうか。アメリカの日常生活を知った上で初めて理解できる、さまざまな米語口語表現を学んでいきます。

③ 10月16日(水) (18:30~20:00) 講師 本計 義文

■ 発想の転換

買い物をした時に店員さんから「ありがとうございました。」ではなく「Have a nice day!」と言われたら、あなたはどのように感じるでしょうか。お客に対する発話として「いい一日をね!」という発想は私たちにないのではないのでしょうか。日米の発想の違いを理解しながらさまざまな米語口語表現を学んでいきます。

④ 10月23日(水) (18:30~20:00) 講師 本計 義文

■ ジェスチャー・各シーンでの表現

ボディランゲージ（ジェスチャー）もコミュニケーションにおいて重要な要素です。「この発話にはこのジェスチャー」となるような、コミュニケーションに不可欠な各ジェスチャーを学びます。また、食事や電話などの各シーンに応じた、ネイティブならではの米語口語表現を学んでいきます。

⑤ 10月30日(水) (18:30~20:00) 講師 本計 義文

■ スピーチ・各シーンでの表現

スムーズなコミュニケーションのためのスピーチパフォーマンスと、恋愛やとっさの一言など各シーンに応じた、ネイティブならではの米語口語表現を学んでいきます。

比治山大学

ひろしまカレッジ					
受講証					
申込開始日	定員	100名	対象	社会人、大学生、高校生	
9月17日	受講料	無 料	会場	マルチメディアスタジオ	

詩の歴史を学ぶⅡ

近代詩の誕生から現代詩まで、詩はどのように歩んできたのでしょうか。歴史を貫く詩の原型はあるのでしょうか。昭和のはじめ、萩原朔太郎、西脇順三郎、小林秀雄といった人たちが、今日にまで通底するいくつかの基本的な視座を提出しました。それぞれが外界（西洋）からの刺激を自分なりに解釈することによって作り上げています。詩を語ることが、ある意味で世界を語ることに等しい時代もありました。これまで広島では、明治、大正、昭和、そして平成とつづく詩の歴史を通史として語られたことがありません。そこで数年にわたる長期計画で、近代詩史を学んでいただきたい、そのような願いをこめてこの講座を開きます。

- ① 10月26日（土）〈13:30～15:00〉**
広島大学・尾道市立大学 名誉教授
榎林 晃二
■北村透谷　－日本近代詩の先駆－

透谷（明元～27）。若き日、自由民権運動に参加するも、その過激化を厭い離脱、石坂ミナとの恋愛、キリスト教入信などを経て政治から文学へ反転、評論や詩に新しき文学の自律を求めて彷徨、初期日本浪漫主義文学を先導しました。「厭世詩家と女性」（明25）、人生相渉論争（明26）、「内部生命論」（明26）など、文学の自律を高唱。詩においては、「楚囚之詩」（明22）、「蓬莱曲」（明24）などの長詩、21編の抒情詩など、創生期の日本近代詩の先駆的役割を果たしました。それらは何であったか、そこには何があったか、少しく考察してみます。

広島経済大学

ひろしまカレッジ					
受講証					
申込開始日	定員	60名	対象	社会人、大学生	
9月17日	受講料	無 料	会場	研修室C	

安心快適生活を望む情報キャッチを目指して

私たちの暮らしぶりは時代と共に進化しています。特に最近のＩＴ技術やネットの活用で情報は溢れんばかりになりました。そこで、今回、本学の女性研究者たちが得意とする分野から、最新の情報を皆様にお伝えし、情報の整理と選択をしていただくこうと思います。日本を取り巻くグローバル経済、活気づくアジア社会、日本と異なる社会政策、メディアリテラシーなどについて学んでいくことを目的とします。

- ① 10月29日（火）〈18:00～19:30〉**
教授
野北 晴子
■「経済学」でみえる真実

情報化社会と言われながら、あふれる情報の中で戸惑う私たち。知らず知らずの間に形成された世間一般「常識」が、経済学的には非常識であることも少なくありません。個々人の安心で快適な生活のためにも、「経済学」で真実を見る目を持つことの重要性を伝えたいと思います。

情報化社会と言われながら、あふれる情報の中で戸惑う私たち。知らず知らずの間に形成された世間一般「常識」が、経済学的には非常識であることも少なくありません。個々人の安心で快適な生活のためにも、「経済学」で真実を見る目を持つことの重要性を伝えたいと思います。

情報化社会と言われながら、あふれる情報の中で戸惑う私たち。知らず知らずの間に形成された世間一般「常識」が、経済学的には非常識であることも少なくありません。個々人の安心で快適な生活のためにも、「経済学」で真実を見る目を持つことの重要性を伝えたいと思います。

- ② 11月2日（土）〈13:30～15:00〉**
比治山大学 教授
宇野 憲治
■島崎藤村　－藤村詩を読む－

『破戒』・『夜明け前』の作者である島崎藤村には4冊の詩集があります。『若菜集』（明30）・『一葉舟』（明31）・『夏草』（明31）・『落梅集』（明34）です。『若菜集』には「初恋」・「六人の処女」「高樓」（「惜別の唄）、『落梅集』には「千曲川旅情の歌」・「椰子の実」等人口に膾炙されている詩が多くあります。幾編かの詩を鑑賞しながら、それらの詩が誕生した経緯、藤村詩の特色と同時代と与えた影響等を、皆さんと一緒に検討してゆきます。

- ③ 11月9日（土）〈13:30～15:00〉**
県立広島大学 名誉教授
坂根 俊英
■萩原朔太郎　－人と文学－

日本における口語自由詩の完成者といわれる萩原朔太郎の詩は、現代詩を考える今の私たちに豊かな示唆を与えてくれます。例えば、代表的な詩集『月に吠える』（大正6年刊）には、「地面の底に顔があらわれ」というような現実にはありえないシュールな（非日常的で奇抜な）イメージが表現されています。それでいてまた彼の人生と文学は密接に関連している場合もあり、恋愛に悩み、結婚と離婚を経験した実生活は作品に反映し、私たちの興味をひきつけます。さらに、詩のみでなくエッセイなども多く書き、多彩な文学活動をした詩人の世界は汲めども尽きぬ言葉の宝庫となっています。

- ④ 11月16日（土）〈13:30～15:00〉**
福山大学 教授
秋枝（青木）美保

- 宮沢賢治の心象スケッチと絵画　－詩篇「春と修羅」とゴッホの「サイプレス」－

詩篇「春と修羅」は、「mental sketch modified」という副題が付いています。その背後には、短歌「ゴオホサイプレスの歌」「ひのきの歌」連作など初期の賢治の表現活動との関連が考えられ、そこには宮沢賢治独自の表現方法の秘密が秘められています。その謎を、短歌、詩集『春と修羅』のプレ作品とされる「冬のスケッチ」と対照しながら見て行きます。そこには、雑誌『白樺』における西洋絵画の紹介と、それにまつわる文学と美術の総合的な表現の革新という同時代の背景があったようです。そこに賢治の「心象スケッチ」という方法の成立事情を探ってみたいと思います。

- ② 11月5日（火）〈18:00～19:30〉**
准教授
堀江真由美
■2013経済問題を考える

最近話題の経済問題について、経済学や経済理論の観点から分かりやすく解説していきます。私たちの損得勘定だけでなく、社会全体として、更に将来世代として、新たな視点で経済問題を考えてみましょう。

- ③ 11月12日（火）〈18:00～19:30〉**
准教授
森山 玲子
■現代の社会政策と生活保障

生活の安定と向上を図るため、政府による様々な社会政策が展開されています。所得保障政策・保健医療政策はその代表といえるでしょう。現代の社会政策は、どのような考え方や基準をベースとして展開されているのか、様々な社会問題とともに考えていきます。

- ④ 11月19日（火）〈18:00～19:30〉**
准教授
土屋 祐子
■スマートフォン時代のメディアリテラシー

メディアリテラシーは多様なメディアの特性を理解し、人々が豊かに表現、活用していく力です。本講座ではスマートフォンやタブレット端末の急激な普及によるメディア・コミュニケーション環境の変化について解説し、みなさん自身のメディアとの関わりについて考えていきたいと思います。

- ⑤ 11月26日（火）〈18:00～19:30〉**
准教授
宮畑加奈子
■美麗島（台湾）精神の源泉を探る！

食べ物の美味しさでは他の追隨を許さない台湾ですが、実は文化施設の多さも半端ではありません。この講座では、台湾全土に遍く存在するユニークな「博物館」、「美術館」を取り上げ、歴史、社会、政治などの諸要素が織りなす空間としての意義を読み解くことによって、一味違った台湾観光を試みます。

広島工業大学

ひろしまカレッジ					
受講証					
申込開始日	定員	50名	対象	社会人、大学生、高校生	
10月1日	受講料	無 料	会場	研修室C	

情報が支える未来

- ① 11月1日（金）〈18:00～19:30〉**
助教
垣内 洋介
■暮らしを支える組込みシステム

掃除機・洗濯機・テレビなど、我々の生活に欠かせない家電製品には、たくさんの情報技術が組み込まれています。身近なところで情報システムがどのように生活を豊かにしてくれているのか、基本的な仕組みとこれからの展望についてご紹介します。

- ② 11月8日（金）〈18:00～19:30〉**
教授
秦 淑彦
■Where am I? Where are you? 位置情報技術とその応用

カーナビで利用される「位置情報」がスマートフォンで扱えるようになり、道案内に加え、ソーシャルゲームやチェックインサービスなど新たな位置情報サービスを生み出しています。本講座では、測位や地図情報等の位置情報技術の基本と応用サービスについて解説します。

県立広島大学

ひろしまカレッジ					
受講証					
申込開始日	定員	50名	対象	社会人	
10月1日	受講料	無 料	会場	研修室C	

方言から見えてくること

- ① 11月2日（土）〈13:30～15:00〉**
教授
友定 賢治
■標準語と方言

標準語の成立と普及の過程を、方言との関係から見ていきます。単に言葉の問題にとどまらず、さまざまな観点から見る事が求められ、近代史の重要な問題であることを考えていきます。

- ② 11月9日（土）〈13:30～15:00〉**
広島大学 准教授
小西いずみ
■方言地図を読む

明治以降、日本では多くの方言地図が編まれてきました。この回では主に全国規模の方言地図を見ながら、方言分布の成立事情や、標準語・共通語と方言の関係について考えます。

- ③ 11月16日（土）〈13:30～15:00〉**
教授
友定 賢治
■関西弁の広がりから見えてくること

関西弁が好きだという若い人が全国的に増えています。また「めっちゃ」「なんでやねん」などの関西弁を実際に使用もしています。この背景にある、特に若い世代のコミュニケーション意識の変化や現代社会の性格などを考えていきます。

広島市立大学

ひろしまカレッジ					
受講証					
申込開始日	定員	100名	対象	社会人、大学生、高校生	
10月1日	受講料	無 料	会場	マルチメディアスタジオ	

国際、情報、芸術から見たネットワークの魅力

- ① 11月7日（木）〈18:00～19:30〉**
教授
鍛澤 達夫
■「衣・食・住　ソウルー広島」現代美術展の報告

「衣・食・住　ソウルー広島」展は、参加作家18名、グループ1組がソウルでレジデンスをして作品を制作し、2012年8月16日から27日までの12日間で滞在制作から搬入までを行いました。会期は8月28日から9月10日までの14日間で作品を展示。ほとんどの参加作家が約2週間ソウルに滞在しました。西京大学での現代美術展のプレゼンテーションを致します。

- ② 11月14日（木）〈18:00～19:30〉**
教授
湯浅 正恵
■社会学から学ぶ社会を越えるネットワーク

社会学は「社会」を境界で区切られた場における成員間の持続的な相互行為として分析してきました。その社会学にとって関係が現れては消え境界が移動する「ネットワーク」は、少しヤツカイな、それでいて魅力的な観察対象です。講義ではグローバル化時代のネットワークについて社会学の視点から具体例を交えてお話しします。

社会の情報化が進展していく中、私たちは、より良い生活を送るために、情報や情報手段を自ら選択し活用することが求められます。私たちの暮らしに無くてはならない存在になったインターネットが社会を変えたように、私たちの未来はこれから情報によって大きく変わっていくことでしょう。この講座では、情報が支える未来について、情報通信技術（ICT）と情報システム技術という二つの側面から、最先端の研究についてご紹介します。

- ③ 11月15日（金）〈18:00～19:30〉**
教授
竹野 英敏

- 初等中等教育における情報システム技術による学習支援

教育の場では、長年「目でみる」や「耳できく」教材・教具を利用してきました。理想は、五感に訴えて学習することではないでしょうか。近年では、「触りごち」や「力加減」を体感しながら学習を深める情報システムが注目されています。その一端についてご紹介します。

- ④ 11月22日（金）〈18:00～19:30〉**
教授
安部 伸治

- 高齢者・障がい者のための情報システム技術の応用

独居高齢者や障がい者など会話の少ない方々のための対話機会創出を目的とした、情報システム技術の最先端をご紹介します。本講座では、映像通信技術・映像認識理解技術・ロボット技術・スマートフォン通信技術などを応用した対話支援技術についてビデオを使ってご覧頂きます。

方言は消滅の危機にある一方で、地域の象徴として存在し続けています。自分の感覚にぴったりあえば、どこの地域の方言であるかは関係なく、メールなどで使うといったこともあります。また、かつての、標準語が使えないという方言コンプレックスが、現在は、方言が話せないことがコンプレックスだといったこともあります。このように、方言をめぐる問題はひろがりを持っています。また、単に言葉の問題としてでなく、幅広い観点が求められます。本講座では、方言から見えてくることを考えていき、方言が現在どのような言葉として存在しているのかを明らかにしていきます。

- ④ 11月30日（土）〈13:30～15:00〉**
尾道市立大学 教授
灰谷 謙二
■方言からみた造語法と造語発想

モノに名前をつける。その時何に目を向けどのような思いをこめてどんな発想で名付けをするか。どんな語の形をあたえるか。造語発想と語構成とよばれるこの二つの観点は、いずれも私たちのものの見方や世界観を映し出します。方言の語をつくる心意を通して私たちの祖先たちのものの見方や考え方の特徴を考えます。

- ⑤ 12月7日（土）〈13:30～15:00〉**
呉工業高等専門学校 准教授
岩城 裕之
■人々の生活と方言語彙

雪国には、共通語に比べて雪の種類を表す語が多くあることが知られています。このように、どのような意味分野の語が多いか少ないか、また、呼び分けが細かいかどうかを観察することで、地域の人々の世界観が見えてきます。この講座では、自然環境を表す語彙や食生活語彙、人びとの性向を表す語彙から見える日本人の暮らしと世界観を考えます。

- ⑥ 12月14日（土）〈13:30～15:00〉**
教授
友定 賢治
■方言の現在

現在、方言は、消滅の危機にあるという反面、様々なに活用され、方言ブームと言われたりもします。このような方言をめぐるさまざまな状況から、方言の現代的な意義について考えていきます。

国際交流は、グローバル人材育成のために、極めて重要であり、国際交流を実現する手段には、言語、情報、表現等を交換するための様々なネットワークが存在します。国際および芸術からは、これまでの国際交流の実績を示しながら、ヒューマンネットワークの可能性や構築するための方法等について講義します。また、情報からは、ヒューマンネットワークを促進するためのソーシャルネットワークワーキングやコミュニティネットワークワーキングの技術について講義します。

- ③ 11月21日（木）〈18:00～19:30〉**
助教
黒澤 義明
■つながりからとらえるソーシャルネットワーク

近年、様々なソーシャルネットワークサービスが提供されるようになっていきます。人々はサービスへ参加し、ゲーム、ベット、洋服等を題材に次々につながっていきます。そのつながりはどのように扱われるのでしょうか？　今回は情報の分類技術や、マーケットにも応用可能な情報推薦技術等、つながりを解析する技術を紹介します。

- ④ 11月28日（木）〈18:00～19:30〉**
教授
角田 良明
■MANETを用いたコミュニティネットワーク

国際交流など地域社会内外のヒューマンネットワークを地域社会において促進する手段の一例として、本講義では、ひろしま菓子博覧会開催中に実施した、スマートフォンやタブレット端末から発信するお菓子に関する口コミ情報を共有する、モバイルドホックネットワーク（MANET）を用いたコミュニティネットワークを紹介します。

ひろしまカレッジ **受講証**は、講座申込や出欠確認に受講証を利用できる講座のことです。

→詳しくは、ホームページ（「ひろしまカレッジ」で検索）をご覧ください。
教育ネットワーク中国（TEL 082-533-7591）までご連絡をお願いいたします。